

『観光における文化交流の視点』

～ ホテル産業(宿泊施設)との関連 ～

2018年 9月 21日(金)

大妻女子大学

特任教授 玉井和博

お話の流れとポイント

I. インバウンドの現状と課題



II. 国際文化交流の祭典…の法律“のキーワード



III. ツーリズム視点からの文化交流



IV. 文化交流に対する宿泊産業(ホテル・旅館) と地域連携

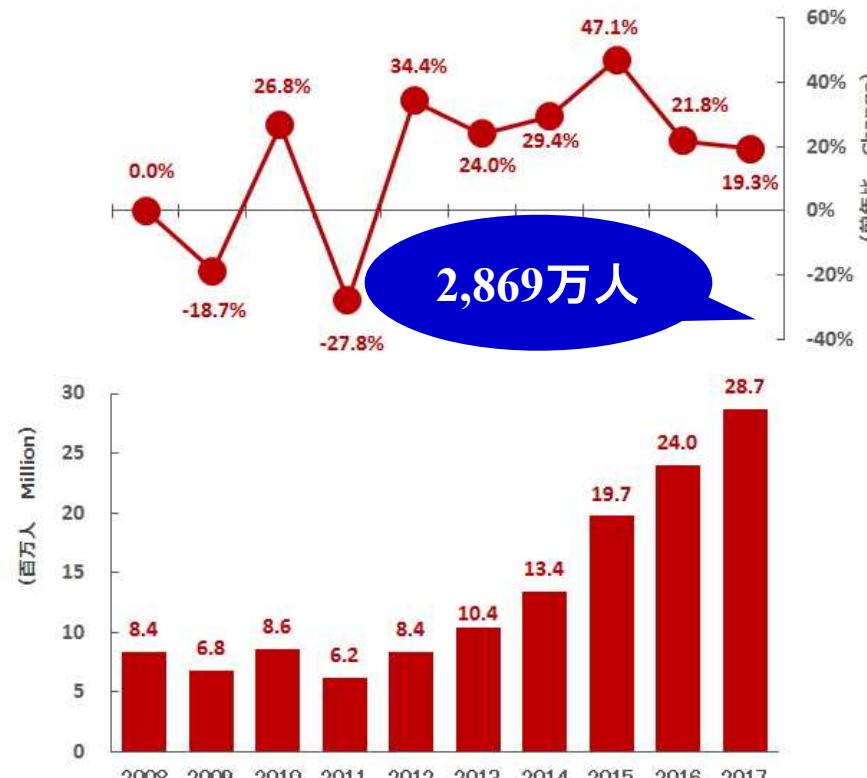
I .インバウンドの現状と課題

1. 訪日外国人客推移表

訪日外国人数 直近10年間 2017年版

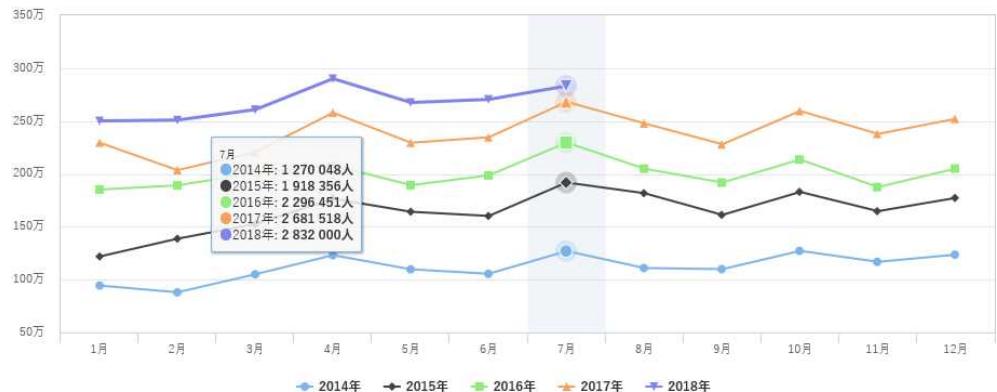
Visitor Arrivals to Japan for last 10 years — 2017

TRAVEL
VOICE
www.TravelVoice.jp



出典:日本政府観光局 Source:Japan National Tourism Organization

2018年・月別推移



【出典:TRAVEL VOICE / HP・他より】

2. 2017年・年間国別訪日外客数

2017年12月 訪日外客数 (JNTO推計値)

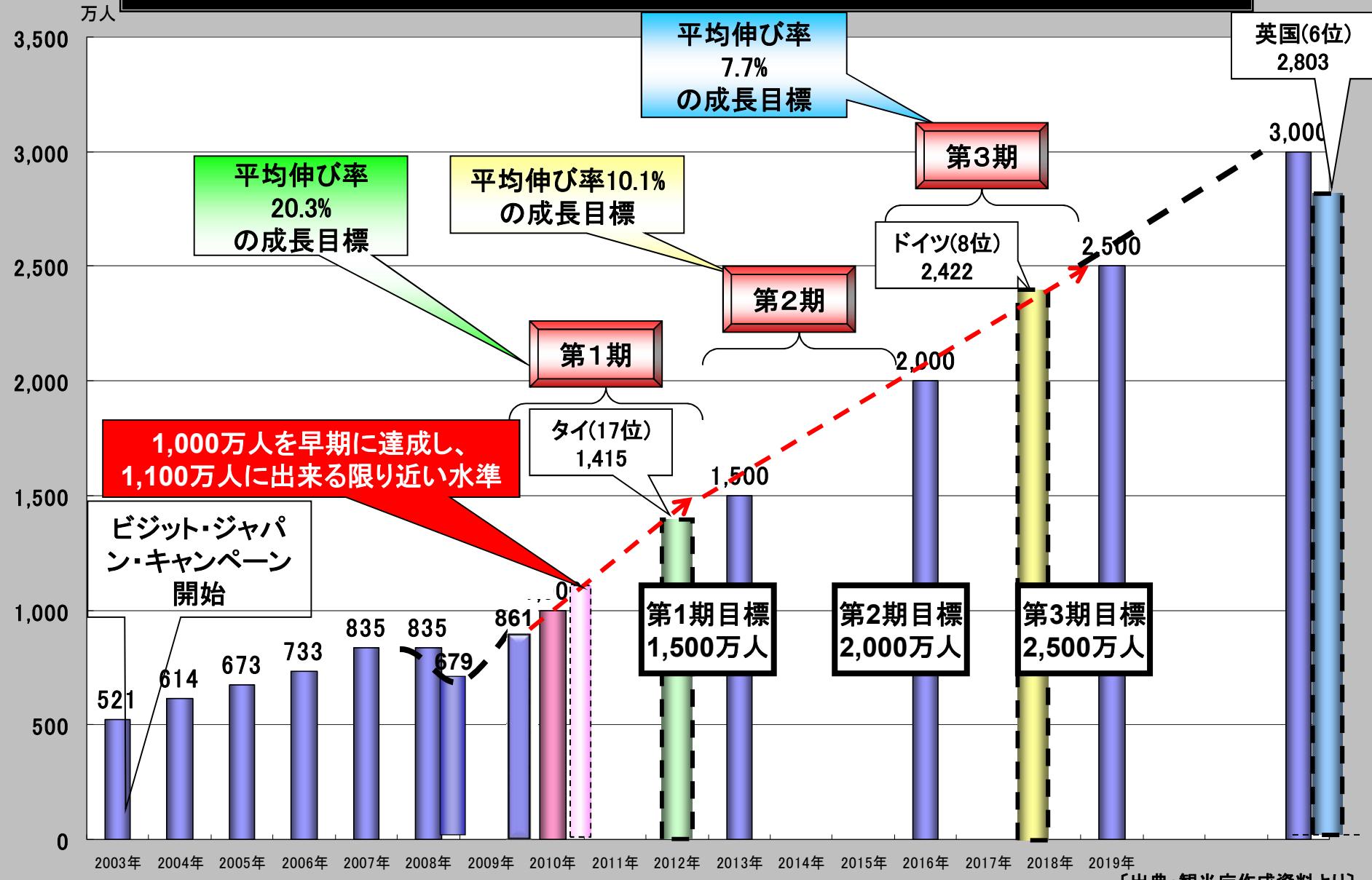
Visitor Arrivals for Dec. 2017 (Preliminary figures by JNTO)

〔出典:日本政府観光局〕

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2016年 12月	2017年 12月	伸率(%)	2016年 1月～12月	2017年 1月～12月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,050,648	2,521,300	23.0	24,039,700	28,690,900	19.3
韓国	South Korea	494,376	678,900	37.3	5,090,302	7,140,200	★ 40.3
中国	China	427,462	564,300	32.0	6,373,564	7,355,800	15.4
台湾	Taiwan	278,736	319,500	14.6	4,167,512	4,564,100	9.5
香港	Hong Kong	189,773	207,200	9.2	1,839,193	2,231,500	21.3
タイ	Thailand	96,405	115,800	20.1	901,525	987,100	9.5
シンガポール	Singapore	75,868	86,400	13.9	361,807	404,100	11.7
マレーシア	Malaysia	63,297	64,700	2.2	394,268	439,500	11.5
インドネシア	Indonesia	40,894	52,300	27.9	271,014	352,200	★ 30.0
フィリピン	Philippines	41,318	48,700	17.9	347,861	424,200	21.9
ベトナム	Vietnam	13,050	19,700	51.0	233,763	308,900	★ 32.1
インド	India	7,512	8,900	18.5	122,939	134,400	9.3
豪州	Australia	51,524	57,300	11.2	445,332	495,100	11.2
米国	U.S.A.	105,036	116,200	10.6	1,242,719	1,375,000	10.6
カナダ	Canada	24,642	27,100	10.0	273,213	305,600	11.9
英国	United Kingdom	20,801	23,000	10.6	292,458	310,500	6.2
フランス	France	15,499	17,000	9.7	253,449	268,500	5.9
ドイツ	Germany	10,713	11,500	7.3	183,288	195,600	6.7
イタリア	Italy	8,404	9,400	11.9	119,251	125,800	5.5
ロシア	Russia	4,428	5,700	28.7	54,839	77,200	● 40.8
スペイン	Spain	5,749	5,900	2.6	91,849	99,900	8.8
その他	Others	75,161	81,800	8.8	979,554	1,095,700	11.9

訪日外国人3,000万人へのロードマップ (2010時点)

世界経済や為替が安定していること、戦争や疾病の流行が発生しないこと等を前提とする。



3. 観光立国・インバウンド効果のKPI

1. 訪日外国人旅行者数

2016年
2,400万人

2020年
4,000万人

2. 訪日外国人旅行消費額

2016年
3.7兆円

2020年
8兆円

3. 地方部(3大都市圏以外)
での外国人延べ宿泊者数

2015年
2,514万人

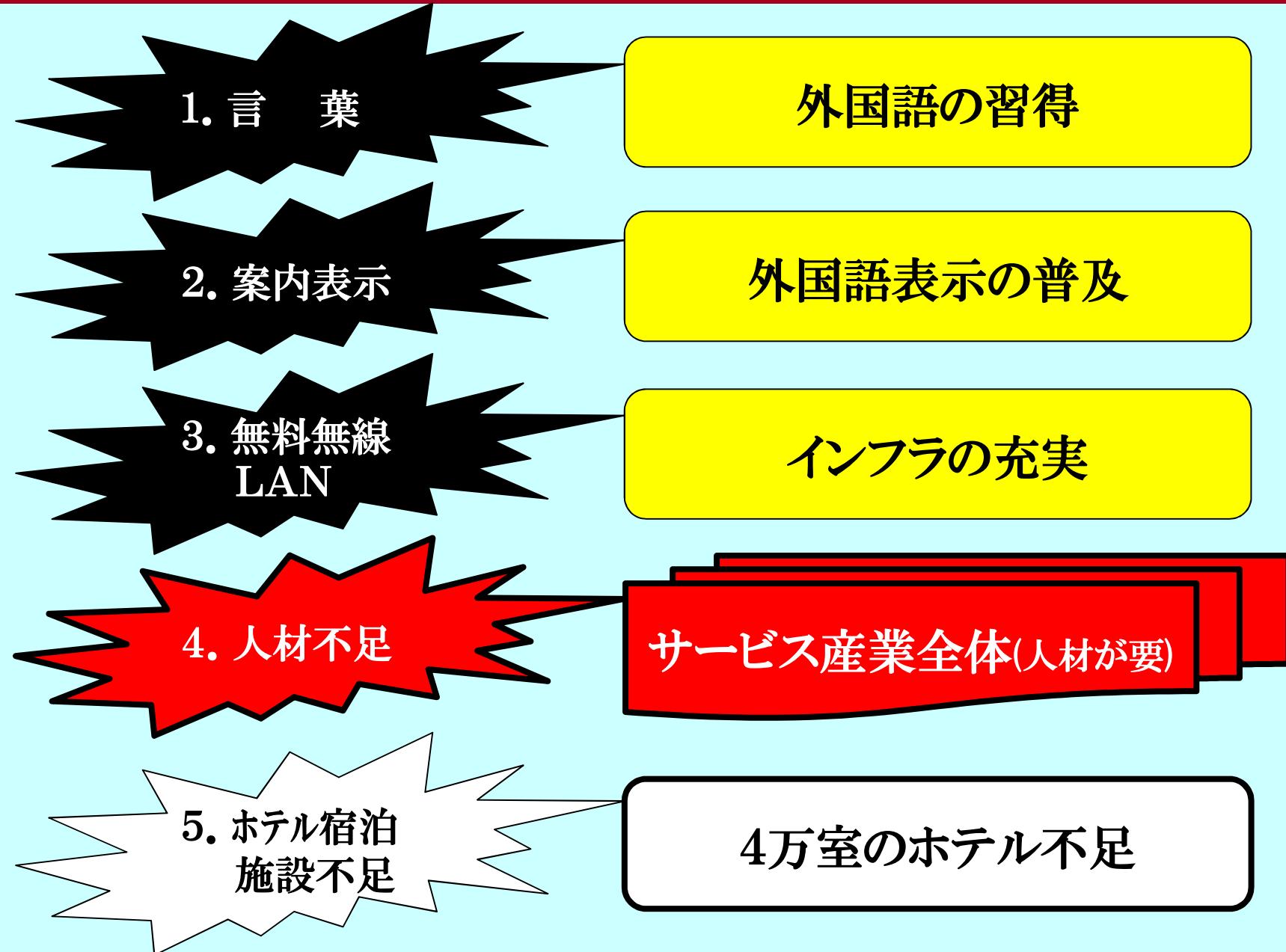
2020年
7,000万人

※ 日本人国内旅行消費額

2015年
20.4兆円

2020年
21兆円

4. 観光立国を目指す日本の課題





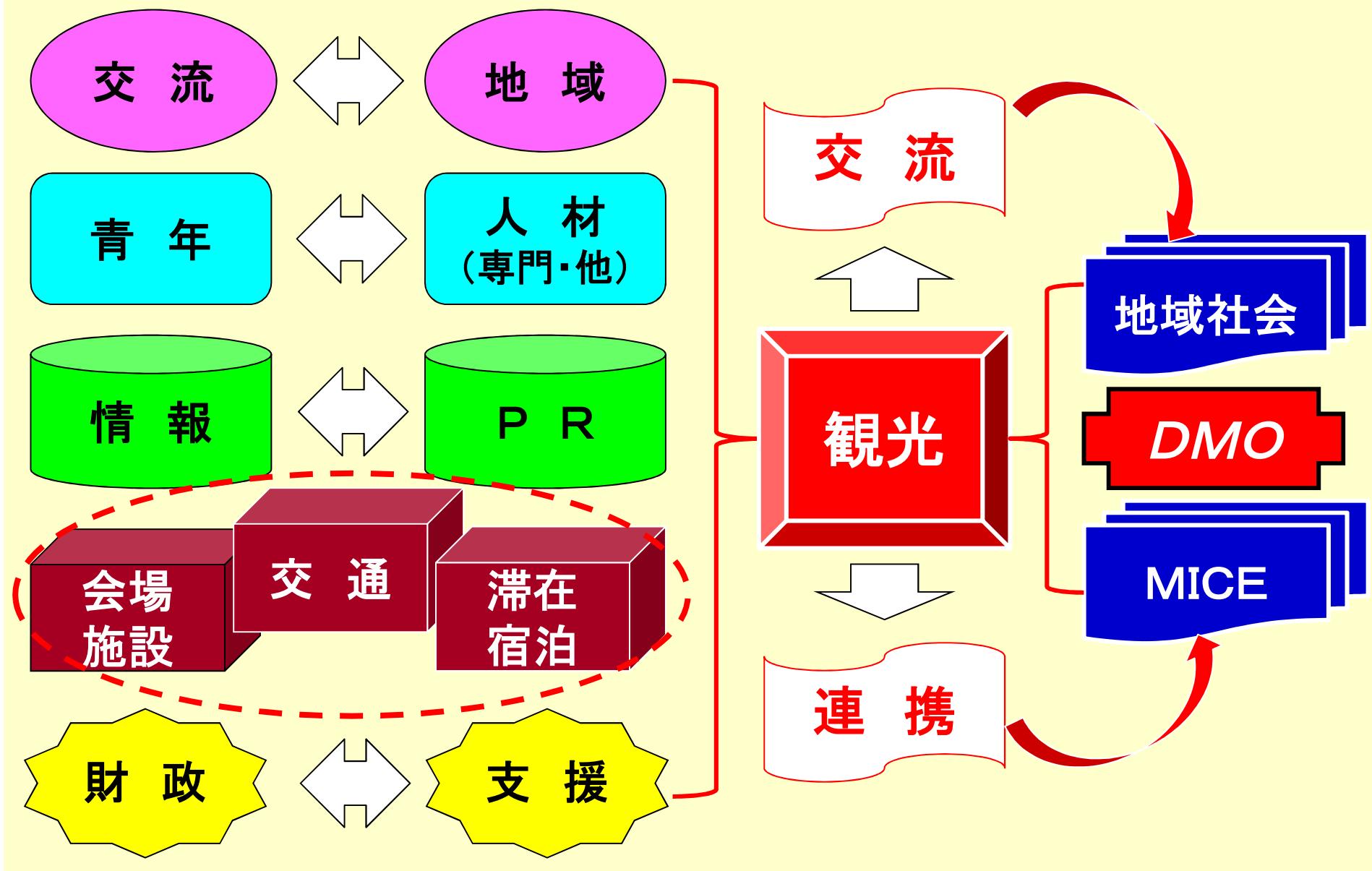
II.「国際文化交流の祭典の実施の 推進に関する法律」のキーワード

1. 同法の提出理由

1. 心豊かな国民生活及び活力ある地域
社会の実現…のため！！

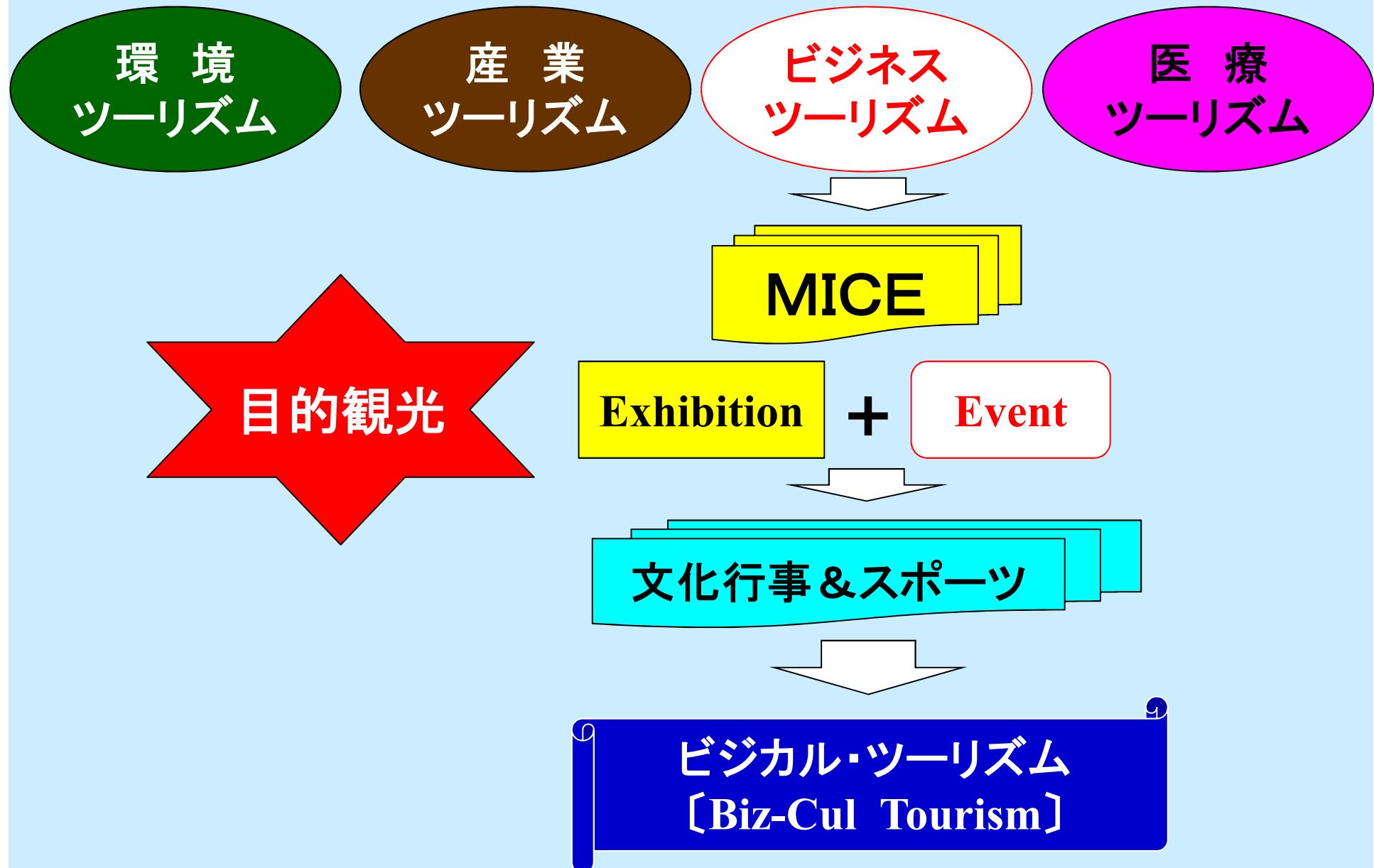
2. 我が国の国際的地位の向上に資する
…ため！！

2. 同法のキーワード分類

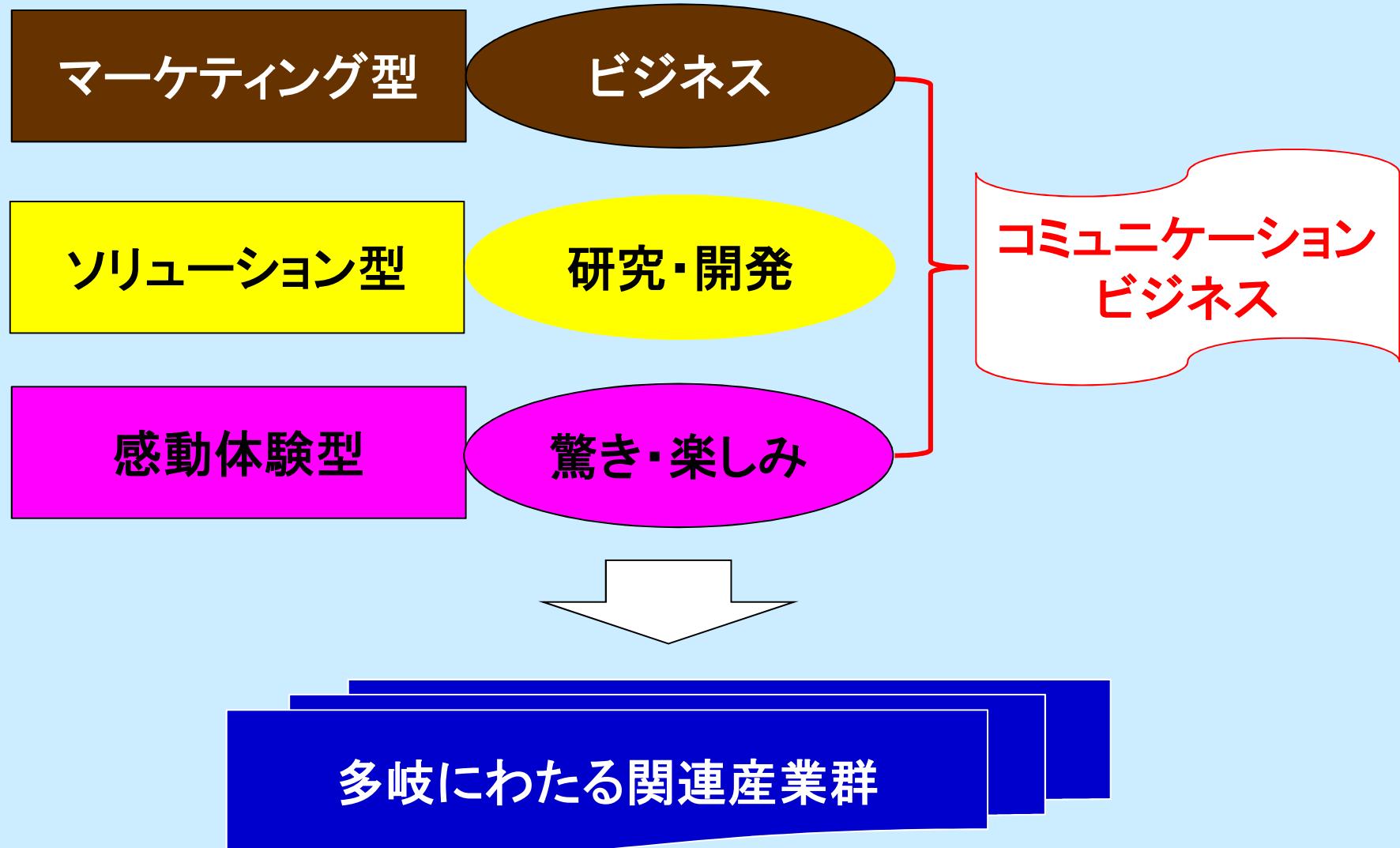


III.ツーリズム視点からの文化交流

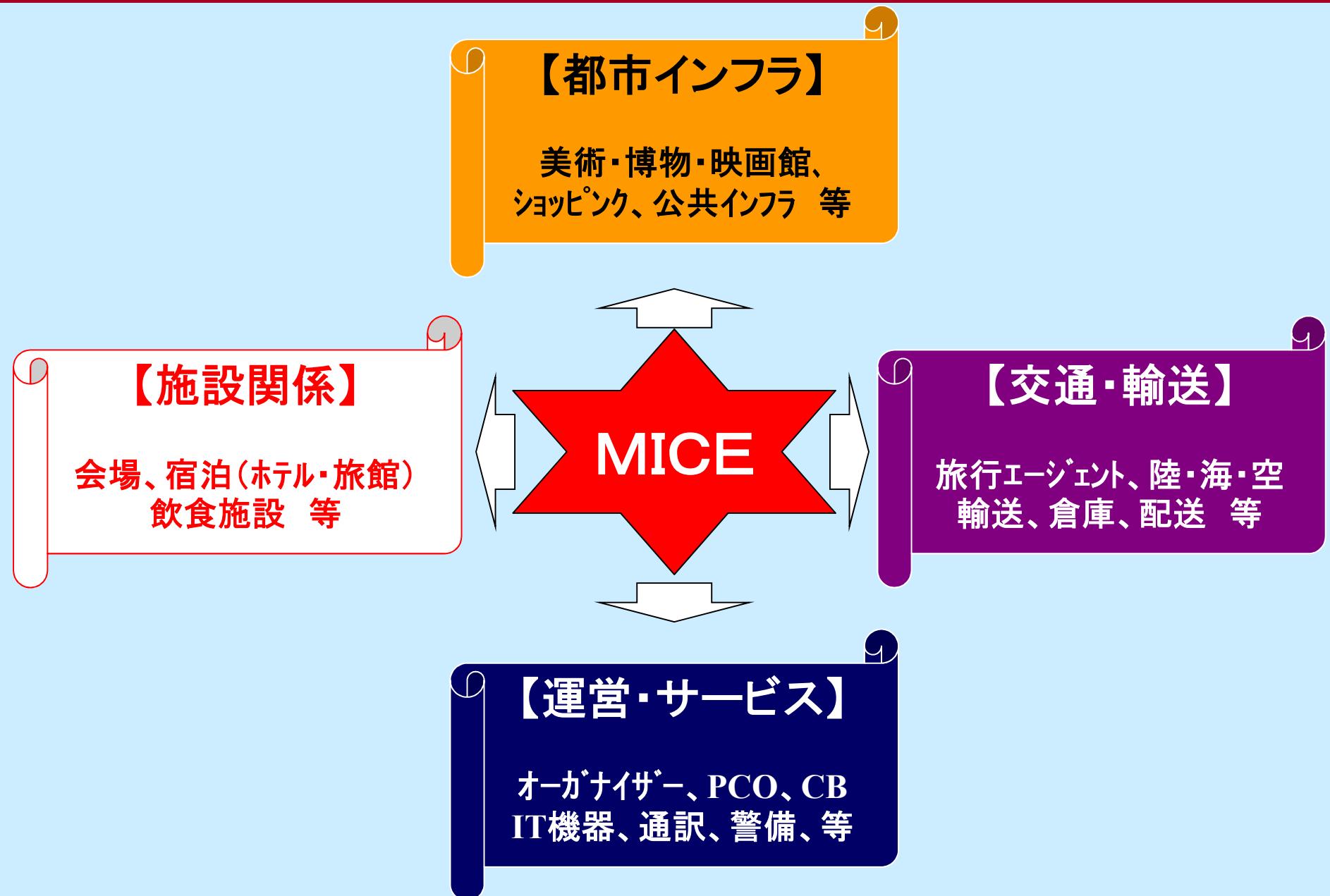
1. 観光・MICEと文化の視点



2. MICEの目的分類



3. MICE関連産業区分

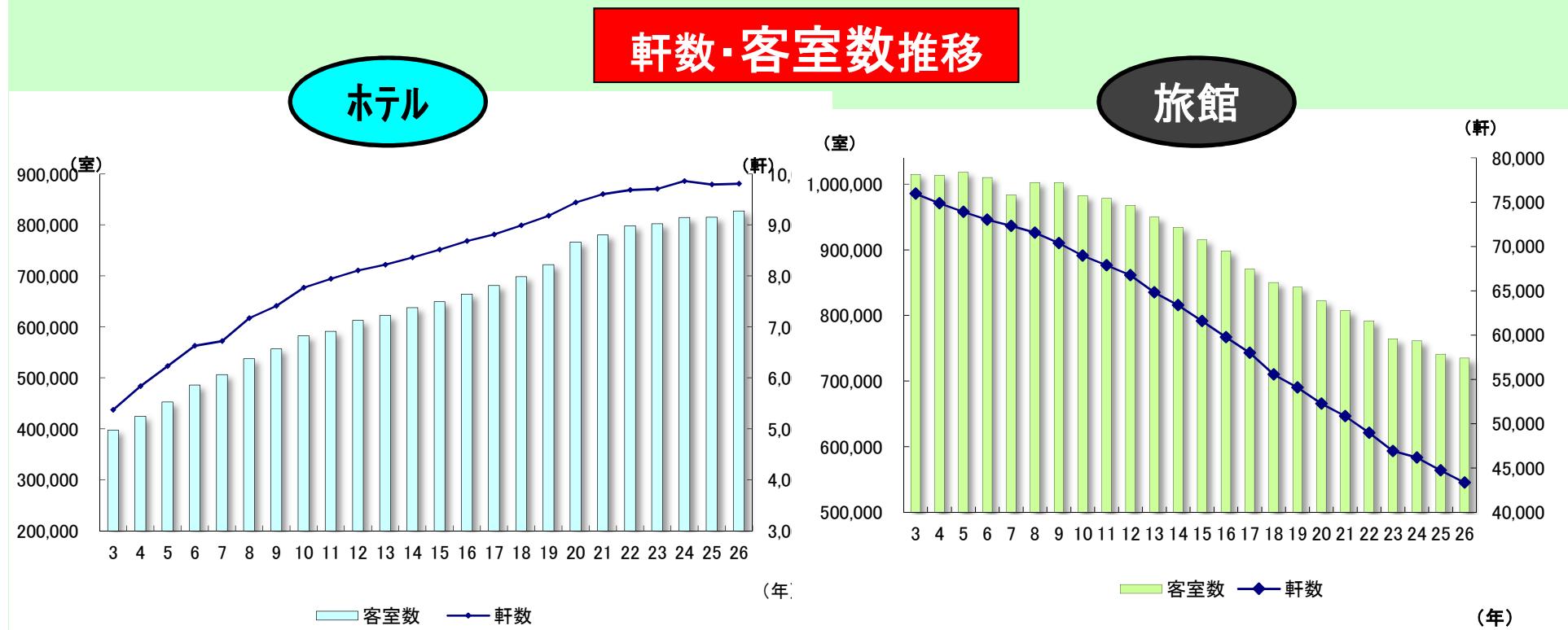


IV.文化交流に対する宿泊産業 (ホテル・旅館)と地域連携

1. 日本の宿泊産業(ホテル・旅館)概要

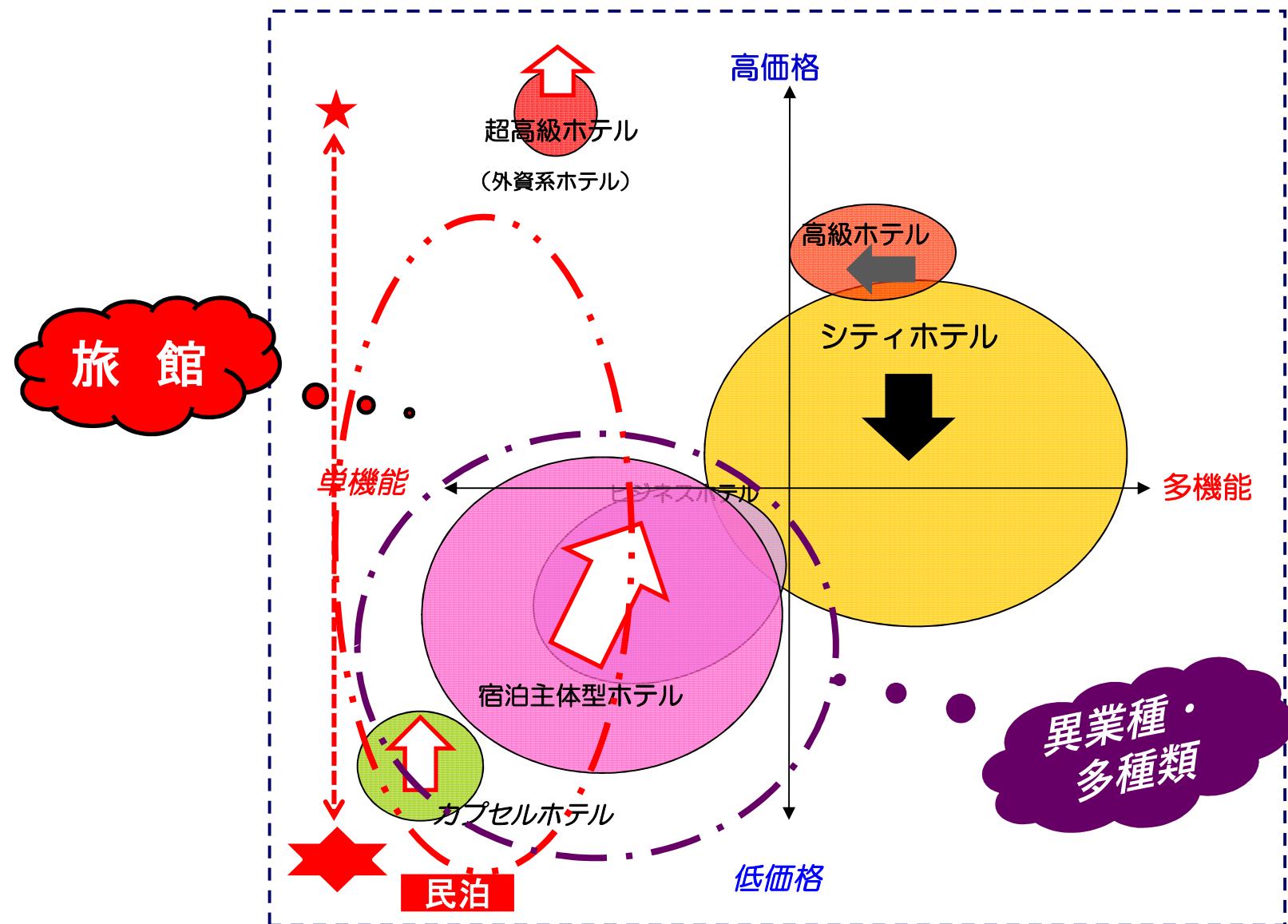
※宿泊施設数: **79,842** 施設 (2016年3月現在)

1. ホテル: 10,101 (客室数 869,810)
2. 旅館: 39,489 (客室数 691,962)
3. 簡易宿所: 29,559
4. 下宿: 693



〔出典:衛生行政報告例〔厚生労働省〕※各年3月現在の数値〕

2. 都市におけるホテルカテゴリー・ポジショニングマップ



〔作図:玉井〕

3. ホテルカテゴリーの更なる分化

		Full-Service	Select-Service
Hotels	Luxury 60,000 up	<ul style="list-style-type: none"> ・パレスホテル東京 ・帝国ホテル (・ホテルオークラ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペニンシュラ ・リッツカールトン ・パークハイアット ・コンラッド東京 ・キャピトル東急 ・東京ステーション
	Upscale 40,000 up	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューオータニ ・セルリアン東急 ・ロイヤルパーク ・ハイアットR東京 ・Gニッコー東京 ・京王プラザ 	<ul style="list-style-type: none"> ・アマン ・星のや東京 ・シャングリ・ラ ・マンダリン ・プリンスギャラリー ・フォーシーズンズ
	Middle 30,000 up		<ul style="list-style-type: none"> ・ストリングス東京 ・パークホテル東京 ・アンダーズ
	20,000 up	<ul style="list-style-type: none"> ・第一ホテル ・メトロポリタン ・グランドパレス 	
	Economy 15,000 up		
	Budget 10,000 up		
			<p><i>Life Style Hotel</i></p> <p>トランクホテル / Wired Hotel</p> <p>庭のホテル東京、三井ガーデン、 小田急サザンタワー、レム 渋谷エクセルホテル東急、ゲートホテル雷門 ロイヤルパーク汐留、丸ノ内ホテル、龍名館</p> <p>アパホテル、ヴィラフォンテーヌ 京王プレツソイン、リッチモンド、ルートイン 東横イン、スーパーHetc</p> <p>民泊</p>
Ryokan			
Inns			
Motels			
Pensions			

〔作図:玉井〕

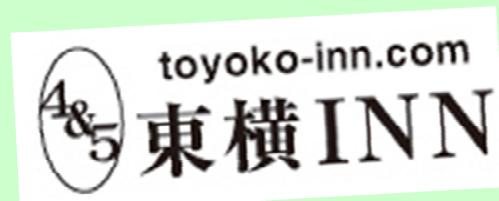


AMAN
TOKYO



〔出典:各ホテルHPより〕

4. 宿泊主体型ホテル各社



〔出典:各ホテルHPより〕

5. ライフスタイルブランドホテル

Global



Asia



US



NoMAD

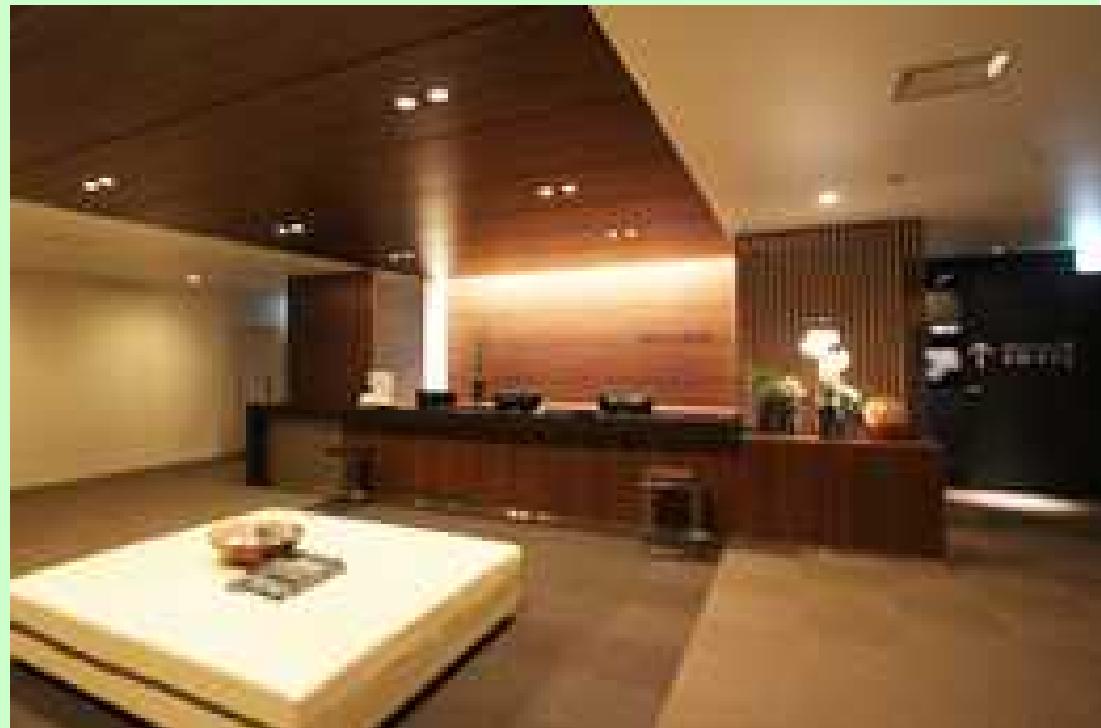


Europe

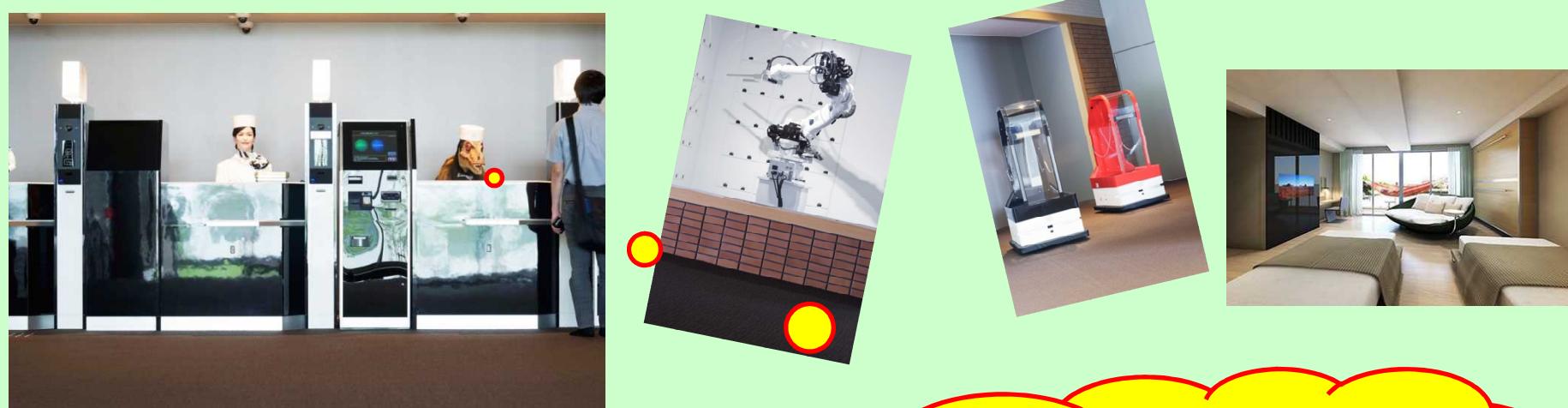


PENTA
HOTEL

FIRST CABIN HANEDA



〔出典:同社HP・他より〕



ハウステンボス
『変なホテル』

Artificial
Intelligence
人工知能

〔出典：ハウステンボスHPより〕

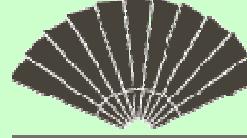


【出典:各社HPより】




Shangri-La hotel
TOKYO




MANDARIN ORIENTAL
TOKYO




CONRAD
TOKYO




THE PENINSULA
TOKYO



【出典:各社HPより】

6. 都市再開発事業とホテル

1. 都市(地域)開発の核・ステイタスシンボル
2. 他の商業施設との複合化がしやすい
3. 地域経済への波及効果→雇用の創出
4. 国家戦略(観光立国)の一環・文化貢献度

※ 都市再開発における割増容積率



大阪プラザH



大阪東洋H
現・ラマダH



Hパシフィック東京

新たな社会的使命
と価値創造！！



旧・赤坂プリンスH

〔出典:各ホテルHPより〕